



こんにちは。トリプルアイズの白石です。
いつもお読みいただきありがとうございます。

トリプルマガジンでは、当社の製品やサービスについてはもちろん、IT・AIに関する最新情報を発信しています。たまに社内の出来事もお知らせします。身近に感じていただけると嬉しいです。

さて今回のコラムは、「アルコールチェックの有人確認が24時間365日可能に！—AIZE Breathがコールセンターとの連携サービス開始」というテーマでお届けします。

トリプルニュースでは、

「秋の展示会終了！幕張、大阪、ありがとうございました」

「トリプルアイズ社員が各地でセミナー登壇」

「「生成AI×教育 妄想アイデアオーディション」審査員にトリプルアイズのエンジニアが参加」

「第15回UEC杯コンピュータ囲碁大会にて当社AIエンジニアが優勝！」

「個人投資家様向け オンライン会社説明会動画を配信」

についてご紹介いたします。

そして連載「アルコールチェック対策ウェビナーQ&Aをご紹介」では、随時開催しているアルコールチェックに関する法令対策ウェビナーの質疑応答でいただいた内容を抜粋して紹介します。

IT批評では、

今月の編集長レビュー「新しい“大きな物語”のために ヒューマニズムを更新する試み」

今月の特集記事「来るべき人とAIとのインタラクション 慶應義塾大学理工学部教授 栗原 聡氏に聞く」をご紹介します。

どうぞ最後までお付き合いください。

-----<目次>-----

1. アルコールチェックの有人確認が24時間365日可能に！—AIZE Breathがコールセンターとの連携サービス開始
 2. トリプルニュース
 3. アルコールチェック対策ウェビナーQ&Aをご紹介
 4. IT批評
 5. 編集後記
-

1. アルコールチェックの有人確認が 24 時間 365 日可能に！—AIZE Breath がコールセンターとの連携サービス開始

アルコール検知器による検査義務化、いよいよ 3 週間後にスタートですね。当メルマガでも Q&A などを通して、改正道路交通法の概要やチェックポイントなどについてお知らせしてきました。

本日は、「**24 時間 365 日の有人確認**」を可能にする新サービスについてご紹介いたします。



■ハードルになっていた有人によるリアルタイムでの確認

アルコール検知器による検査義務化が通達されて以来、少なくない企業様を悩ませてきたのが、「有人確認」です。

改正道路交通法では、12 月 1 日からの検査義務化の内容として、

1. 運転者の状態を目視等で確認するほか、アルコール検知器を用いて確認を行うこと
2. 確認の内容を記録し、及びその記録を 1 年間保存し、並びにアルコール検知器を常時有効に保持すること

を明記しています。

「目視等で確認」とは、運転者の顔色、呼気の臭い、応答の声の調子等で確認することを指し、原則対面ですが、直行直帰など対面での確認が困難な場合にはこれに準ずる方法で実施することとして、以下の方法を認めています。

1. カメラ、モニター等によって、安全運転管理者が運転者の顔色、応答の声の調子等とともに、アルコール検知器による測定結果を確認する方法
2. 携帯電話、業務無線その他の運転者と直接対話できる方法によって、安全運転管理者が運転者の応答の声の調子等を確認するとともに、アルコール検知器による測定結果を報告させる方法

モニターや携帯電話を使用するにせよ、有人によるリアルタイムでの確認が必要であることは間違いなく、早朝や深夜時間帯には安全運転管理者をはじめとした確認者の確保が困難であることから、これがハードルとなっている企業様も多く、相談が寄せられていました。

■24時間 365日の有人によるアルコールチェックヒアリングが可能に

今回、トリプルアイズは、電話による飲酒検査の代行サービスを提供してきたバディネットとサービス連携を行い、飲酒検査業務に課題を抱える企業様に対し、検知器によるアルコールチェックと電話確認をワンストップで提供することで、当該業務に発生するトータルコストの削減を実現しました。

サービス概要

検知器を使用後、ドライバー様は待つだけ。
簡単3ステップでアルコールチェックが可能です！



使い方は至って簡単です。アルコールチェック自体はこれまでと同様に、スマホでアプリを立ち上げて、検知器に息を吹き込むだけ。検知データがクラウドを通してコールセンターに送られ、コールセンターから運転者に電話がかかります。その場でヒアリングをしたら完了です。ヒアリングの内容もデータとして記録されます。

24時間・365日対応してくれるのが嬉しいですね。直行直帰が多い企業様や深夜・早朝時間帯に業務を行う企業様は検討されてみてはいかがでしょうか。

ぜひご相談ください！

AIZE Breath : <https://aizebreath.jp/>

* コールセンター連携サービスは有料オプションとなります。

2. トリプルニュース

秋の展示会終了！ 幕張、大阪、ありがとうございました



この秋は関東地区、関西地区それぞれで展示会に出展し、「AI ラボ」をはじめとする当社の AI サービスを紹介いたしました。ブースへ足をお運びいただいた皆様、誠にありがとうございました！

会場では**生成 AI に関連する展示が多く**、春の展示会とは違った雰囲気。IT 業界の変化の波の速さを肌で感じました。

改めて、今回メインで展示した2つのサービスはこちらです。

●御社のエンジニア部隊としてトリプルアイズの AI エンジニアをご活用ください！

AI ラボ：<https://www.3-ize.jp/ailab/>

●コールセンターとの連携で直行直帰・深夜早朝も対応可能

AIZE Breath：<https://aizebreath.jp/>

トリプルアイズ社員が各地でセミナー登壇



展示会のみならず、この秋はセミナーで皆様とお会いさせていただく機会もありました。当社 AIZE 営業部の藤澤、川田がそれぞれ東京、大阪でセミナー講師として登壇いたしました。

●東京都文京区が主催する「企業力向上オンラインセミナー」：<https://www.3-ize.jp/information/3949/>

リスキングによる人材強化について、執行役員の藤澤よりお話しさせていただきました。

●大阪で開催された「第3回デジタル化・DX推進展（ODEX）」のセミナー会場にて「AI 導入待ったなし～業務改革における AI 活用事例を紹介」：<https://www.3-ize.jp/information/3952/>

AI の活用シーンや実際の導入事例について AIZE 営業部の川田よりお話しさせていただきました。

ご視聴いただいた皆様、ありがとうございました。

「生成 AI×教育 妄想アイデアオーディション」審査員にトリプルアイズのエンジニアが参加

こんなサービスがあれば学ぶのがもっと楽しくなる!

生成AI×教育
妄想アイデア
オーディション

～生成AIで、あなたの妄想が現実に～

子どもの学びワクワク部門 先生ハッピー部門 家庭・地域キッズ部門

応募期間: 10/30(月)▶11/19(日)

開発費は企業側が全額負担! あなたのアイデアがサービスに?
AI企業とコラボサービス開発権

大賞
奨励金 **100,000円**



エンジニアも活躍しています!

教育現場 AI 活用推進機構 (AIUEO) が主催する『生成 AI があなたの妄想を現実に! 「生成 AI×教育」 妄想アイデアオーディション』の審査委員として、技術本部執行役員・片渕が参加します。

タイトルから興味を惹かれるオーディション、詳細はこちらです: <https://www.3-ize.jp/information/3936/>

子どもから大人まで、どなたでも応募が可能ですので、興味のある方はぜひご応募ください!

第 15 回 UEC 杯コンピュータ囲碁大会にて当社 AI エンジニアが優勝!



今年は、参加者全員が電気通信大学で顔を合わせる形の大会となりました。11月4日、5日の2日間に渡り開催された「第15回 UEC 杯コンピュータ囲碁大会」。

予選・本戦を通して全勝と圧倒的な技術力の高さを見せ、**6回目の出場でついに栄冠を勝ち取ったのは、当社 AI エンジニア・松崎の「EG/EvoGo」**でした。2位には同じくトリプルアイズの AI エンジニア・吉枝悟の「Engawa」が続き、「Engawa」は審査委員選考によるフロムスクラッチ賞も獲得しダブル受賞となりました。

対局中には技術者同士が技術談議にふけっているシーンが印象的で、**大会が貴重な技術者相互のコミュニケーションの場**としても機能していることを感じました。**技術者たちの熱い思いが、AI 進化のスピードに拍車をかけていくこと**でしょう。

詳細はこちら：<https://www.3-ize.jp/information/3955/>

個人投資家様向け オンライン会社説明会動画を配信



10月24日（火）に開催された個人投資家様を対象としたオンライン会社説明会動画を配信中です。

本説明会では、当社の代表取締役 山田雄一郎と取締役 CFO 加藤慶が出演し、**トリプルアイズの経営方針、事業概要、成長戦略**についてご説明しております。また、個人投資家様からの質問にお答えしております。

どなたでもご覧いただけますので、ぜひご視聴ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=ToEpWLOGNCo>

3. アルコールチェック対策ウェビナーQ&A をご紹介

当社ではアルコールチェックに関する法令対策ウェビナーを随時開催しています。

こちらでは質疑応答でいただいた内容を抜粋して紹介します。



Q：対面で運転者の表情を確認する事となっていると思いますが、自撮りの静止画を記録するだけでも認められますか？

A：認められません。顔写真記録機能を利用する場合でも、目視もしくは電話等のリアルタイムでの確認は法律上必須となります。

コラムでもお伝えしたとおり、AIZE Breth はコールセンターと連携することで、**リアルタイムでの電話確認が可能になりました**。ぜひご検討ください。

白ナンバーアルコールチェックのウェビナー情報はこちら：

https://www.3-ize.jp/case/detail_20230612.html

4. 【IT 批評】

今月の編集長レビュー「新しい“大きな物語”のために ヒューマニズムを更新する試み」 Text by 桐原永叔 (IT 批評編集長)



人類史に注目が集まっているのは、大きな時代の変化の象徴ではないでしょうか。「ビッグヒストリー」といわれる新しい学問分野さえ誕生しています。私たちが未来に向かっていくにはなにが必要か？ 梅棹忠夫の文明論や地質学でいう人新世のコンセプトをヒントに、“テクノロジーの生態系”から機械と人間の共生について考察します。

「わたしたちの未来はどうなるのだろうか。AI や先端テクノロジーは格差を広げるのだろうか。わたしはそう思わない。互助や配分の経済がテクノロジーの“遍在”を促す可能性を思っているからだ。」（本文より）

ぜひご一読を！ <https://it-hiyou.com/>

今月の特集記事

「来るべき人と AI とのインタラクション 慶應義塾大学工学部教授 栗原 聡氏に聞く」



ChatGPT をはじめとする生成 AI は、多くの人々が AI を利用する「AI の民主化」をなしとげました。AI をめぐる百家争鳴の議論の中で、私たちはどこに立脚点をおくべきか。人工知能研究の第一人者として、人と AI とが共生する社会基盤を構想する慶應義塾大学の栗原聡氏にお話を伺いました。

慶應義塾大学工学部教授 栗原 聡氏に聞く

- (1) 来るべき人と AI とのインタラクション
- (2) AI により変容するヒューマニティ
- (3) ポスト生成 AI を考える

ぜひご一読を！ <https://it-hiyou.com/>

編集後記

今回も最後までお読みいただきありがとうございました。

ニュースでもご紹介した展示会。今年は東京、幕張、名古屋、大阪で出展しました。正直、驚いています。というのも、数年前までトリプルアイズ単独で展示会に出展することはほとんどありませんでした。（記憶では一度きり…）

背景には、ここ数年AIが社会的に注目されていることもありますが、何より当社のサービスを使ったださるお客様、共に歩んでくださるパートナー企業様の支えがあつての成長だと感じます。いつもありがとうございます！

それでは、次回のトリプルマガジンもお楽しみに！
